視察（研修）報告書

平成30年8月2日

府中市議会議員 様

会 派 名 公明党

議 員 名 大本 千香子

日 時	平成30年8月1日 10:00~16:30
視察（研修）先	福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル
視察（研修）項目	「議員が知っておくべき財政の話 基礎編1・2」
参 加 者	大本 千香子
視察（研修）内容	・「議員が知っておくべき財政の話 基礎編1」 ・「議員が知っておくべき財政の話 基礎編2」
所 感	<p>基礎編1</p> <ul style="list-style-type: none">・財政の基本知識、歳入歳出のあり方、役所の予算編成から決算まで、事業の評価等についての講義。 <p>① 地方債は自治体の住宅ローンのようなものであり、世代間の負担の公平を考慮することと協議制で全体を把握した中での起債が基本。借金総額の全体像と返済のピークも考慮した財政運営が必要となる。決算では経費の流用金額のチェックと各目各節間での流用状況や予備費の支出内容の確認が大切。予算編成方針と合っているのか。議会からの要望事項はどうなっているのか。住民の要望は反映されているのか。事業の財源は適切かについての議論も欠かせない。成果の見えない決算書から見える化を追求したわかりやすい主要施策の成果説明と成果の見える化を追求した決算説明書であるべきであると学ぶ。</p> <p>基礎編2</p> <ul style="list-style-type: none">・地方財政について、計画と決算のPDCAサイクル、業務の見える化、広域連携、公営企業改革、基金の状況、地方法人課税の偏在是正。 <p>① 議員として市民目線、現場第一主義、税金の無駄のない使い方、予算化された額と決算を議員は検証をする。予算化までのプロセスを知る。行政職員とのコミュニケーションが大事である。地方交付税の内容の理解、総額、決定の要因を把握すること、交付税の算定基準、基準財政収入額、基準財政需要額の理解、地方交付税は進化していることを忘れてはならない。臨時財政対策債のからくりを理解すること。地方債と臨時財政対策債の関係、地方債の役割、地方債の年間スケジュールの把握など正確な理解が、財政運営の健全化検証に必要となる。</p>